



〒520-0041
滋賀県大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
TEL 077-521-2775
FAX 077-525-5232
http://www.biwa.ne.jp/ffs/
e-mail:ffs@biwa.ne.jp

2014びわこ集会

原発のない社会へ大きく前進！
1000人が集会・デモ

3月9日、大津市の膳所公園で「原発のない社会へ2014びわ湖集会」が開催され、1000団体約千人が参加しました。

集会は、原発に反対する住民団体の5氏の呼びかけにより「原発なくそう」の一点で運動を広げようと開催されたもので、従業員組合からも先輩組合員など8名が参加しました。

会場の膳所公園と生涯学習センターでは、放射線被爆や核のゴミ映像を見る学習企画が



必要がありすが、これでは健全性は低くなります。先日、金融庁が監督する金融機関の検査を変更すると公表しましたが、金融機関が融資しやすい状況が作れるかどうか私たちもチェックしなければ



ろうとしない。原発がなくとも何等差し支えないことは原発の動いていない毎日でも証明している。今、政府が証明している。電力会社は事故がなかったかのように強力な巻き返しで、再稼働しようとしているが、核のゴミは現状でも満杯で再稼働などいらない。安全性基準を規制基準に名を変えて新基準と言っているがこれまでと変わらないもので、安全基準の基準値を拡大し安全の名をはずしたように自らの責任を放棄したもの。緊急事態宣言はまだ継続中で福島では生活の先も見えず子ども達に放射能影響調査のカナリヤにされている。放射能汚染は全国に拡散されている。

元気ももらった集会

「原発のない社会へ2014びわこ集会に参加して！」
天気にも恵まれ、滋賀県は膳所公園に1000人が集まり、滋賀銀行従業員組合から先輩組合員等8人が参加しました。

基調報告で頭に残った「原発はなぜ即時ゼロなのか」①事故時の避難計画が作れない②福島原発事故の原因究明されていない③使用済み燃料の処分方法を人間は持ち合わせていない。

原発はトイレなきマンションと言われていたのが印象に残りました。

1時から集会2時半からデモは関電経由でパルコ前まで「原発はいらない、自然エネルギーへ」と訴え行進しました。4班に別れたデモ隊の3班の先頭が金融労連の旗になり、後日インターネットで何回か紹介されました。若い人や子供の参加が目立ちました。元気をもらった集会でした。

新入行員のみなさん、ご入行おめでとうございませす。これからは同じ滋賀銀行で働く仲間として、大いに歓迎します。

社会人といっても、仕事や社会人としてのマナーなど勉強しなければならぬことは非常に多くあります。まずは、焦らず確実に一つずつこなしていくことが大切です。

金融機関が置かれておきたいと思われたい。金融本来の役割を果たしながら、強い体力の金融機関が求められています。リーマンショックの後、金融機関のなりふり構わない「収益史上主義」が厳しく批判されたことと同時に、預金者

新しい仲間へのメッセージ

滋賀銀行従業員組合 執行委員長 中島 康隆



ばいだと思いません。金融機関はパワハラ、メンタルヘルスがひどい職場だと言

信用力のある先に融資をすることにします。しかし、信用力のある先からは高い金利をとることはできません。他行との競争原理が働くからです。したがって、よりたくさん儲けようとすると、信用力の低い先に融資する

ばと思っています。

長々と書きましたが、最後に一つアドバイスを。アドバイスになるかどうか分かりませんが、「自分で考えて、自分で判断すること」を習慣にすることをししてください。仕事を

われています。そうしたことが起こった場合、労働者の立場に立つのが組合です。お客様に最高のサービスを提供するには、職場環境を良くすることが必要です。何か困ったことなどありましたら、ぜひ一声かけてください。



働く者の命と健康を守ろう

第8回「働くもののいのちと健康を守る滋賀県センター」総会

**安全なくして労働なし
抵抗なくして安全なし**

**三池炭鉱三川鉱
炭じん爆発事故
から50年**

3月19日、大津市内に於いて「働くもののいのちと健康を守る滋賀県センター」の第8回総会が開催され、25名が参加され、同センターの幹事である従業員組合の小原執行委員が出席しました。

総会の第3号議案「2014年度事業計画案の「はじめに」には、「昨年2013年は、戦後最悪の労働災害である三池炭鉱三川鉱炭じん爆発事故から50周年の節目の年でした。同事故では458人の死亡者と839人の一酸化炭素中毒患者が発生しています。同事故は、国のエネルギー政策が転換する時期に石炭産業に対して強行された大合理化攻撃が進む中で発生したことです。現在は、あらゆる産業分野に規制緩和と合理化が進められています。『安全なくして労働なし、抵抗なくして安全なし』の

この被害はどこまで、また、いつまで広がるのか全く予測できず、多くの人達が未来の見えない不安の中に置かれています。

しかし、それだけでは飽

宥れない、宥められない、宥むべからぬ、宥むべからぬ、原発のない社会を、ろーむむと集まアブル

き足らず、今、政府は放射能汚染物質を、高レベル放射性廃棄物を全国に、原発を新たな危険と共に外国に押し付けようとしています。

安倍内閣は、原発を重要なベースロード電源として将来にわたって維持推進し、再稼働を進めるとした「工

スローガンを思い起こしながら、今2014年春闘最中ですが、『闘いのないところに賃上げはなく、働くもののいのちと健康も守れない』を合言葉に闘いを進めようではありませんか。」と述べています。

まさに「安全なくして労働なし、抵抗なくして安全なし」のその言葉が今に生きる情勢であり、この運動の大切さを実感させられる時代だといえます。

**人間が尊重され、
安心して働ける
職場・社会へ**

全国センターの討論でも「産業や民間・公務、労働者や自営業者の違いを超えて働くものの状態悪化、労働環境悪化がすすんでいることが共通して報告され、背景に極限までのリストラ人減らし、人員不足、定員削減による過重労働があり健康で働き続けられる職場作りは急務である。」「ことが確認されたとしています。

ネルギー基本計画」を近く決定しようとしています。その中では「エネルギー教育」の名で子どもたちに原発推進教育まで押し付けようとしています。

こうした政府の姿勢を受けて、電力会社は再稼働に向け、10原発17基の審査請求を行い、現在審査中です。関西電力は、夏の電力が不足するという破たんした脅し文句で、夏までに大飯原発、高浜原発の再稼働を狙っています。これらの原発で

また、「人間が尊重され、安心して働ける職場・社会へ。すべての働く人にディーセントワークの実現を。」(全国センター総会スローガン)をめざして一歩ずつ着実な歩みをすすめます。そのために、加盟労組・団体、個人の皆さんと力を合わせて、働くもののいのちと健康を守る運動の一層の前進を図ります。」と訴えています。

**理事長は
西山勝夫氏
(滋賀医大名誉教授)**

総会では、事業内容として(1)学習、教育と取組の交流(2)労働局・監督署等への要請行動の取組(3)専門家と懇談会の開催(4)情報収集と情報提供(5)講師派遣(6)広報活動(7)相談・支援活動の推進(10)全国センターや近畿ブロックでの取組などが確認されたほか、2014年度の役員体制が決められました。



重大事故が起これば、関西の命の水であるびわ湖の水が放射性物質で汚染されて飲めなくなることは、滋賀県のコミュニケーションでも明白になっています。

こうした再稼働への暴走は国民世論に逆行するものであり、絶対に認められませんが、人びとの生命や生活より企業の金儲けを優先する政府・財界・電力会社の企みを許してはなりません。

各種の新聞の世論調査でも8割を超える圧倒的多数が、原発をなくすことを求めています。将来の廃炉だけでなく、即時廃炉を求める声も大きく伸びています。国民世論を背景にした運動の広がりは、政府・財界・電力会社を追い詰めています。

2012年3月に始まった首相官邸前の毎週金曜日の抗議行動は、原発ゼロの熱い思いで継続しています。この動きは全国に広まり、滋賀県内各地で多くの仲間が呼応し、継続的な抗議要請行動に取り組んでいます。東日本大震災3年目のこの週末にも全国各地で集会が行われています。



今日、ここに集う私たちは、福島原発事故を忘れることなく、被災地の人びとと共に、明るい未来を描けるような社会にしていこうと誓います。多くの人びとと手を取り合い、この運動をさらに発展させ、圧倒的多数の原発ゼロを求める国民世論によって原発推進勢力を包囲、孤立させましょう。そして原発の再稼働を許さず、放射能からびわ湖を守り、「原発のない社会」をつくりあげましょう。

大飯原発、高浜原発の再稼働反対。
すべての原発再稼働反対。
新増設反対。

原発輸出をやめさせよう。
すべての原発を廃炉へ。

2014年3月9日

原発のない社会へ

2014びわこ集會

参加者一同

(前頁のびわこ集會で採択されたアピール全文です)